

問題 I

次の本文を読み、設問1から設問13に答えなさい。解答は、マークシート解答用紙の所定の欄にマークしなさい。なお、文中において言及した史料の原文は、適宜改めている。

古代では、天変地異や飢饉などが起きると、祟りが原因ではないかと考えられることがあった。桓武天皇の時代、長岡京遷都の指揮にあっていた藤原種継が暗殺される事件が起きた。桓武天皇の弟で皇太子でもあった〔A〕が事件に関与していたと疑われて淡路に流罪となったが、彼は断食して無実を訴え、護送途中で死去した。桓武天皇は自分の子である^(ア)安殿親王を皇太子にしたが、その後、様々な不幸な出来事が起きた。安殿親王は病にかかり、桓武天皇の皇妃である藤原旅子も病死し、さらに疫病や飢饉が続いた。これらは〔A〕の祟りであると噂されるようになったこともあり、桓武天皇は平安京に都を移した。その後、死者を祀って災厄を鎮める御霊会が開催されるようになった。

嵯峨天皇の時代になると、藤原冬嗣が蔵人頭になり、その子の良房は娘を入内させるなどして天皇家と外戚関係を築き、藤原氏は政治的影響力を強めていった。良房は842年に起きた〔B〕の後に自らの甥を皇太子とし、^(イ)この皇太子は後の文徳天皇になった。良房はさらに娘の〔C〕を文徳天皇に嫁がせ、その間に生まれた子は後に清和天皇となった。良房には男子がいなかったため、兄である藤原長良の子の基経を養子に迎えた。基経の実妹である高子は清和天皇の女御となり、その子は後に陽成天皇となった。こうして藤原氏は着々と権力基盤を固めていった。

嵯峨天皇の頃から学問分野で存在感を増し始めたのが菅原家であった。嵯峨天皇は漢文学を重視し、菅原清公や〔D〕に命じて最初の勅撰漢詩文集である『凌雲集』の編纂を行わせた。^(ウ)菅原清公は菅原道真の祖父であり、文章博士として紀伝道の発展に寄与した。清公の子である是善も文章博士となり、菅原家は紀伝道の中心的存在となった。菅原家は菅家廊下と呼ばれる私塾を開き、そこで多くの門人が学んだ。

政治の世界では藤原氏が摂関政治を展開し、藤原基経は〔E〕が起草した勅書をめぐる阿衡の紛議において自らの権勢を示した。基経が死去すると、宇多天皇は藤原氏を外戚としなかったこともあり、学者の菅原道真を重用した。ところが、醍醐天皇の時代になると、藤原時平の讒言により、道真は大宰府に左遷された。

醍醐天皇は、土地制度改革や法令の整理に取り組んだ。醍醐天皇は、902年に税収強化のために荘園整理令を発し、「^(ニ)〔F〕並びに諸院諸宮及び五位以上の、百姓の田地舎宅を買ひ取り閑地荒田を占請するを停止すべき事」(『類聚三代格』)とした。また、醍醐天皇は藤原時平に〔G〕の編纂を命じるなど律令体制を復興した。

さて、道真が失意のまま死去して数年経つと、藤原菅根が雷にあたって死去し、藤原時平も病死するなど、左遷の関係者とみられる人物が相次いで死去した。また、洪水、干ばつ、伝染病などの自然災害が頻発するようになり、さらに清涼殿への落雷によって貴族らが命を落とすと、醍醐天皇は体調を崩し、その年のうちに死去した。その後、道真の祟りを鎮めるために、^(エ)北野神社(北野天満宮)に道真を祀ることになった。

道真が左遷された大宰府は軍事や外交などを担当する行政機関であった。大宰府は天慶の乱で藤原純友に一時占領されたが、その後、朝廷は〔H〕を追捕使に任命して藤原純友を追討し、大宰府も朝廷のもとに戻った。天慶の乱を引き起こしたもう一人の人物である平将門は、関東地方の国府を襲って国司を追放し、自らを新皇と名乗ったが、^(オ)朝廷が派遣した軍によって討ち取られた。討ち取られた平将門の首は京都の河原に晒された後に関東の方に飛んで行ったなどと噂され、将門についても祟りにまつわる話がある。

〔設問 1〕

空欄 (A) に入る人物を次の [1] から [5] のなかより選び、解答欄 (1) にマークしなさい。

- [1] 舎人親王 [2] 早良親王 [3] 刑部親王 [4] 長屋王 [5] 道祖王

〔設問 2〕

下線部 (ア) の人物は、後に即位し、わずか 3 年で退位した後に嵯峨天皇と対立した。この人物は誰か。次の [1] から [5] のなかより選び、解答欄 (2) にマークしなさい。

- [1] 仁明天皇 [2] 光孝天皇 [3] 平城天皇 [4] 光仁天皇 [5] 淳仁天皇

〔設問 3〕

空欄 (B) に入る出来事を次の [1] から [5] のなかより選び、解答欄 (3) にマークしなさい。

- [1] 安和の変 [2] 応天門の変 [3] 昌泰の変 [4] 橘奈良麻呂の変 [5] 承和の変

〔設問 4〕

下線部 (イ) の皇太子は誰か。次の [1] から [5] のなかより選び、解答欄 (4) にマークしなさい。

- [1] 高岳親王 [2] 他戸親王 [3] 恒貞親王 [4] 道康親王 [5] 以仁王

〔設問 5〕

空欄 (C) に入る人物を次の [1] から [5] のなかより選び、解答欄 (5) にマークしなさい。

- [1] 明子 [2] 彰子 [3] 宮子 [4] 威子 [5] 詮子

〔設問 6〕

空欄 (D) に入る人物を次の [1] から [5] のなかより選び、解答欄 (6) にマークしなさい。

- [1] 藤原緒嗣 [2] 淡路三船 [3] 紀古佐美 [4] 菅野真道 [5] 小野岑守

〔設問7〕

下線部（ウ）に関連して、当時の学問をめぐる状況を説明した文章として適切なものを次の〔1〕から〔5〕のなかより選び、解答欄〔7〕にマークしなさい。

- 〔1〕 中央には式部省の中に貴族の子弟が通う国学が置かれ、地方には郡司の子弟を学ばせるための大学寮が置かれた。
- 〔2〕 明法道は、易経、尚書、詩経、春秋、礼記を学ぶ学科であり、清平氏や中原氏などが明法博士になった。
- 〔3〕 嵯峨天皇は山部赤人に『経国集』の編纂を命じ、そこでは文芸が国家の支柱で興隆の鍵であるとする文章経国思想が展開された。
- 〔4〕 藤原氏の勸学院、和気氏の契学院、在原氏の弘文院のように、有力氏族は一族の子弟だけが利用できる教育施設を設けた。
- 〔5〕 菅原道真是、文人貴族の代表例であり、少年時代から官僚時代までの詩を含む漢詩文集『菅家文草』を醍醐天皇に奏進したが、その翌年に大宰府に左遷された。

〔設問8〕

空欄〔E〕に入る人物を次の〔1〕から〔5〕のなかより選び、解答欄〔8〕にマークしなさい。

- 〔1〕 伴健岑 〔2〕 紀夏井 〔3〕 紀豊城 〔4〕 橘広相 〔5〕 橘逸勢

〔設問9〕

空欄〔F〕には、特定の田を新たに開くことを意味する言葉が入る。ここでいう特定の田はどれか。次の〔1〕から〔5〕のなかより選び、解答欄〔9〕にマークしなさい。

- 〔1〕 公宮田 〔2〕 官田 〔3〕 勅旨田 〔4〕 口分田 〔5〕 諸司田

〔設問10〕

空欄〔G〕に入る法令を次の〔1〕から〔5〕のなかより選び、解答欄〔10〕にマークしなさい。

- 〔1〕 弘仁式 〔2〕 延喜式 〔3〕 貞観式 〔4〕 令義解 〔5〕 令集解

〔設問11〕

下線部（エ）の神社は947年に創建された。このときの天皇は、醍醐天皇の子であり、最後の皇朝十二銭である乾元大宝を発行した人物である。この人物は誰か。次の〔1〕から〔5〕のなかより選び、解答欄〔11〕にマークしなさい。

- 〔1〕 村上天皇 〔2〕 冷泉天皇 〔3〕 一条天皇 〔4〕 二条天皇 〔5〕 堀河天皇

〔設問12〕

空欄 に入る人物を次の〔1〕から〔5〕のなかより選び、解答欄 にマークしなさい。

- 〔1〕 小野好古 〔2〕 安倍貞任 〔3〕 源頼義 〔4〕 平頼盛 〔5〕 藤原頼長

〔設問13〕

下線部（オ）について、平将門を討ち取った人物を説明した文章として適切なものを次の〔1〕から〔5〕のなかより選び、解答欄 にマークしなさい。

- 〔1〕 藤原基成の娘を妻とし、鎮守府将軍として活躍した。
〔2〕 毛越寺に大規模な伽藍を建立した。
〔3〕 平泉に中尊寺を建立し、奥州藤原氏の祖となった。
〔4〕 『倭藤太絵巻』の主人公であり、百足を退治した豪傑として描かれた。
〔5〕 源頼朝の要求に屈して源義経を攻めて自害させた。

問題 II

以下の感染症および公衆衛生に関する本文を読み、設問1から設問8に答えなさい。設問1から設問7の解答は、マークシート解答用紙の所定の欄にマークしなさい。設問8の解答は、記述式解答用紙の所定の欄に書きなさい。なお、文中において言及した史料の原文は、適宜改めている。

感染症は、その名のとおり細菌やウイルスなどに感染して起きることから、人やモノの移動が広がれば広がるほど感染も広がることになる。日本は島国であることから感染症の大規模な流行が発生しにくい環境にあったとされるが、それでも古代から様々な感染症が存在した。たとえば、『源氏物語』の「若紫」は、源氏が「瘡病にわづらひたまひて」北山の聖のもとに平癒祈願にいくところから始まっているが、この瘡病（瘡）は感染症であったと考えられている。

江戸時代になるといわゆる「鎖国」の状態となり、外国から感染症がもたらされるリスクは減少したが、例外的に交易が認められていた場所では流行することがあった。幕末になると、条約によって開港された場所から感染症が広がることもあった。たとえば、コレラは外国から持ち込まれたと考えられており、文政、安政、文久に流行が起きた。

一方、江戸時代には入国を認められた一部の外国人によってもたらされた西洋医学により、感染症対策が進展した側面もあった。日本は古くから天然痘に悩まされてきたが、シーボルトはジェンナーの種痘法を伝え、モーニッケは牛痘法種痘を実際に行った。長崎で蘭学や医学を学んだ緒方洪庵は、モーニッケが輸入していた痘苗を得て、除痘館を開き、牛痘種痘法を実施して天然痘治療に貢献した。また、緒方洪庵は適塾を開き、多くの優秀な弟子を輩出した。福澤諭吉の後に第11代塾頭となった人物は、公衆衛生の概念を日本に広め、厚生省の前身である内務省衛生局の初代局長となった。また、適塾出身者の中には欧州に行った際に赤十字の存在を知り、後に日本赤十字となる博愛社を設立した者がいた。

さらに、明治時代になると日本人研究者が医学や化学、生物学などの分野で重要な発明や発見をするようになった。もっとも、明治時代の近代化は貧富の差を拡大する側面があり、特に労働者は衛生面で劣悪な環境に置かれることが多く、衛生状態の悪化が懸念された。1911年には工場法が制定されて労働者の保護がはかられたが、不十分な点も残った。

20世紀の二度の世界大戦は、人やモノの移動に加えて、多数の傷病者を出し、社会の衛生状態を悪化させたため、感染症を広げる契機となった。特に、第一次世界大戦時にはスペイン風邪が大流行し、多くの感染者および死亡者が出た。第二次世界大戦時にも、様々な感染症が人々を苦しめた。

〔設問1〕

下線部（ア）の感染症は、現在の日本ではあまり見られないものであるが、古くは黒人がアフリカからアメリカに連れてこられたときにアメリカ大陸に持ち込まれたとされる。また、第二次世界大戦中には戦地となったフィリピンや沖縄で流行し、現地の日本人も感染した。この感染症は何か。次の〔1〕から〔5〕のなかより選び、解答欄 にマークしなさい。

- 〔1〕 ベスト 〔2〕 エボラ 〔3〕 狂犬病 〔4〕 疥癬 〔5〕 マラリア

〔設問2〕

下線部（イ）について、日米修好通商条約が結ばれた1858年にもコレラが流行した。この条約が新たに開港することを定めた場所の組み合わせとして適切なものを次の〔1〕から〔5〕のなかより選び、解答欄 にマークしなさい。

- 〔1〕 箱館・新潟・下田・長崎 〔2〕 箱館・下田・博多・長崎 〔3〕 新潟・神奈川・兵庫・長崎
〔4〕 神奈川・兵庫・下関・長崎 〔5〕 仙台・下関・博多・長崎

〔設問3〕

下線部（ウ）で言及された人物は誰か。次の〔1〕から〔5〕のなかより選び、解答欄 にマークしなさい。

- 〔1〕 長与専斎 〔2〕 後藤新平 〔3〕 森鷗外 〔4〕 北里柴三郎 〔5〕 山田顕義

〔設問 4〕

下線部（エ）で言及された人物は誰か。次の〔1〕から〔5〕のなかより選び、解答欄〔17〕にマークしなさい。

- 〔1〕 景山（福田）英子 〔2〕 岸田（中島）俊子 〔3〕 安部磯雄 〔4〕 佐野常民
〔5〕 山口尚芳

〔設問 5〕

下線部（オ）について、明治時代に日本人が発見した中には麴菌に由来するものがある。夏目漱石の小説『吾輩は猫である』では、苦沙弥先生を評して、「彼は胃弱で皮膚の色が淡黄色を帯びて弾力のない不活発な徴候をあらわしている。その癖に大飯を食う。大飯を食った後で〔X〕を飲む」というくだりでそれが登場する。空欄〔X〕に当てはまるものはどれか。次の〔1〕から〔5〕のなかより選び、解答欄〔18〕にマークしなさい。

- 〔1〕 オリザニン 〔2〕 タカジアスターゼ 〔3〕 ナットウキナーゼ 〔4〕 通仙散
〔5〕 グルタミン酸

〔設問 6〕

下線部（カ）について、1911年に制定された当時の工場法を説明した文章として適切なものを次の〔1〕から〔5〕のなかより選び、解答欄〔19〕にマークしなさい。

- 〔1〕 資本家たちの反対によって施行が1916年まで遅れた。
〔2〕 12歳未満の就業を禁止したが、女性の深夜就業は禁止しなかった。
〔3〕 工場主の責任を明確にし、小規模工場にも適用した。
〔4〕 労働運動に対して厳しい態度をとり、労働者の団結権やストライキ権を制限した。
〔5〕 高野房太郎らは工場法に基づいて労働組合期成会を結成した。

〔設問 7〕

下線部（キ）について、スペイン風邪を説明した文章として適切なものを次の〔1〕から〔5〕のなかより選び、解答欄〔20〕にマークしなさい。

- 〔1〕 第一次世界大戦に参戦したスペインで流行したことからこの名前がついた。
〔2〕 スペイン風邪の致死率は高く、世界の人口が半減した。
〔3〕 日本ではマスク着用が奨励された。
〔4〕 アメリカは戦地にならなかったため、スペイン風邪は流行しなかった。
〔5〕 日本で感染者が確認されたのは第一次世界大戦が終結した後であった。

〔設問 8〕

内務省衛生局の『衛生局報告第三次年報』によれば、1877年7月に清国アモイでコレラが流行したことが伝えられると、内務省は神奈川、兵庫、長崎の3県に対して避病院の設置等の対策を命じた。しかし、感染拡大を食い止めるには至らず、さらに、国内でのある出来事が全国的な感染拡大に拍車をかけ、同年7月1日から翌年6月30日までの感染者数は13816人、死亡者数は8027人に及んだとされる。

上記の対策の狙いと、それにもかかわらずコレラの感染が拡大した要因について、1877年の国内情勢に言及しながら、200字以内で説明しなさい。

問題Ⅲ

以下は、近世の政治・社会・対外関係等に関する設問である。設問1から設問13に答えなさい。解答は、マークシート
解答用紙の所定の欄にマークしなさい。なお、史料の原文は、適宜改めている。

〔設問1〕

〔史料①〕

- 一 諸国百姓、刀、脇指、弓、やり、てつはう、其外武具のたぐひ所持候事、堅く御停止候。其子細は、入らざる道具をあひたくはへ、年貢、所当を難渋せしめ、自然、一揆を企て、給人にたいし非儀の動をなすやから、勿論御成敗有るべし。然れば、其所の田畠不作せしめ、知行ついえになり候の間、其国主、給人、代官として、右武具悉く取りあつめ、進上致すべき事。
- 一 右取をかるべき刀、脇指、ついえにさせらるべき儀にあらず候の間、今度大仏御建立の釘、かすかひに仰せ付けらるべし。然れば、今生の儀は申すに及ばず、来世までも百姓たすかる儀に候事。
- 一 百姓は農具さへもち、耕作専に仕候へハ、子々孫々まで長久に候。〔中略〕百姓は農桑に精を入べき事。

（『小早川家文書』）

次の（a）から（e）は、史料①を発した人物と深い関わりのある出来事で、年代の古い順に並んでいる。史料①が発せられた時期を、後の〔1〕から〔4〕のなかより選び、解答欄〔21〕にマークしなさい。

- （a） 紀伊の根来衆・雑賀衆が討伐された。
- （b） 九州のほぼ全域を支配下に置いた島津氏が降伏した。
- （c） 宣教師に対する20日以内の国外退去が命じられた。
- （d） 小田原城に籠城する北条氏が討たれ、奥羽諸大名も帰服した。
- （e） 百姓が田畑を放棄して商業や賃仕事に就くことが禁じられた。

〔1〕 （a）と（b）の間 〔2〕 （b）と（c）の間 〔3〕 （c）と（d）の間 〔4〕 （d）と（e）の間

〔設問2〕

上記の史料①で言及されている「大仏」が建立された寺院を、次の〔1〕から〔6〕のなかより選び、解答欄〔22〕にマークしなさい。

〔1〕 飛鳥寺 〔2〕 高台寺 〔3〕 東大寺 〔4〕 東福寺 〔5〕 醍醐寺 〔6〕 方広寺

〔設問3〕

上記の史料①を発した人物が全国規模で行わせた土地調査を説明した文章として適切なものを、次の〔1〕から〔4〕のなかより選び、解答欄〔23〕にマークしなさい。

- 〔1〕 領主に指示して田畑の面積・収穫量等を申告させたが、役人を派遣して実測することはなかった。
- 〔2〕 面積の測量単位は、全国一律に、6尺3寸を1間、1間四方を1歩とし、360歩を1反とした。
- 〔3〕 1反当たりの石盛を算出する際に用いる計量器は、当時の公定枡である宣旨枡を標準とした。
- 〔4〕 村ごとに調査結果を取りまとめた帳簿に、田畑一筆ごとの所在地、等級、面積、名請人などを記録した。

〔設問 4〕

16世紀後半における諸外国との関わりを説明した文章として適切なものを、次の〔1〕から〔4〕のなかより選び、解答欄〔24〕にマークしなさい。

- 〔1〕 肥前有馬のセミナリオで学ぶ4人の少年が、太平洋・大西洋を横断して渡欧し、ローマ教皇に謁見した。
- 〔2〕 長崎は、一時期、地元領主によってフランシスコ会に寄進され、教会領となった。
- 〔3〕 暴風雨のため土佐浦戸に漂着したスペイン船の乗組員が尋問を受け、積荷を没収された。
- 〔4〕 マカオを拠点とするポルトガル商人を通じて、生糸や絹織物、鉄砲、硝石、硫黄などが日本にもたらされた。

〔設問 5〕

17世紀前半における諸外国との関わりを説明した文章として適切なものを、次の〔1〕から〔4〕のなかより選び、解答欄〔25〕にマークしなさい。

- 〔1〕 上総に漂着した前ルソン臨時総督が、新たに船を与えられ、京都の商人らを同行して帰国を果たした。
- 〔2〕 ノビスパンとの通商を求めて仙台藩主がスペインに派遣した使節が、インド洋・喜望峰を経て欧州に到着した。
- 〔3〕 対日貿易をめぐるオランダと激しく競合していたイギリスに対して、幕府は平戸・長崎の商館閉鎖を命じた。
- 〔4〕 バタヴィアに移住し、現地の為政者に重用された山田長政のように、海外で活躍する日本人もいた。

〔設問 6〕

江戸時代において、村はどのように統治されたか。その主な特徴を説明した文章として適切なものを、次の〔1〕から〔4〕のなかより選び、解答欄〔26〕にマークしなさい。

- 〔1〕 村の運営は、領主が派遣した村役人の監督の下で、名主や組頭・百姓代を中心とする本百姓によって行われた。
- 〔2〕 村内では数戸ずつが1組にして編成され、年貢や諸役の納入・犯罪の防止などに連帯して責任を負った。
- 〔3〕 本百姓は、所有する田畑の規模にかかわらず、分割相続することが幕府によって禁じられた。
- 〔4〕 五街道筋の村には、往来する大名、旗本・御家人、商人らのため、常に人馬を供出することが義務付けられた。

〔設問 7〕

江戸時代は、生産技術の開発や流通経路の整備などにより、諸産業の発展が著しい時代であった。その具体例を説明した文章として適切なものを、次の〔1〕から〔4〕のなかより選び、解答欄〔27〕にマークしなさい。

- 〔1〕 越後の紫雲寺潟新田は、町人が請け負い、資本を投じて開発が行われた大規模なものであった。
- 〔2〕 江戸商人の尽力により、出羽酒田を起点として、敦賀・大津・大坂を経て江戸に至る輸送路が整備された。
- 〔3〕 鱒漁で培った網を用いる漁法が、九十九里浜の漁民から瀬戸内や紀州熊野の漁民に伝えられ、全国へと広まった。
- 〔4〕 瀬戸内沿岸の製塩業では、入浜式から揚浜式への製法の本格的な発展が見られた。

〔設問 8〕

江戸時代の村々では、商品作物の栽培が盛んになり、全国の諸藩には、多くの特産品が生まれた。なかでも、商品価値が高く、藩専売制の下に栽培・加工される例の多かったものに、「四木三草」がある。次の〔1〕から〔6〕のなかより、一般的には「四木三草」に含まれないものを選び、解答欄〔28〕にマークしなさい。

- 〔1〕 藍
- 〔2〕 麻
- 〔3〕 桑
- 〔4〕 楮
- 〔5〕 檜
- 〔6〕 紅花

〔設問9〕

江戸時代前期のある藩主は、仁政を基本とする藩政の確立に努め、領民を将軍からの預かりものといひ、困窮させることのないよう、家臣に対して「乱世の忠」から「無事の忠」への転換を求めたという。この頃には儒学者を登用して政治を行う藩が各地に見られたが、そのような儒学者の事績を説明した文章として適切なものを、次の〔1〕から〔4〕のなかより選び、解答欄〔29〕にマークしなさい。

- 〔1〕 野中兼山は、谷時中・山崎闇齋に師事して学を修め、薩摩藩主に仕えて新田開発や藩内産業の振興に尽くした。
- 〔2〕 山崎闇齋は、会津藩主に招かれて学を講じ、また、神は仏の化身、権現であるとする思想を唱えた。
- 〔3〕 熊沢蕃山は、岡山藩主に仕えて治績を挙げたが、晩年、自著『大学或問』が幕政批判と咎められた。
- 〔4〕 木下順庵は、加賀藩主に仕えた後、幕府の儒官となり将軍の侍講を勤める一方、林信篤ら多くの門人を育てた。

〔設問10〕

〔史料②〕

在方より当地え出居候者、故郷え立帰度存じ候得共、路用金調難く候か、立帰候ても夫食、農具代など差支候ものは、町役人差添願出づべく候。吟味の上夫々御手下さるべく候。若村方に故障の儀之有るか、身寄の者之無く、田畑も所持致さず、故郷の外ニても百姓に成申し度存じ候ものは、前文の御手下され、手余地等之有る国々え差遣し、相応の田畑下さるべく候。

〔『御触書天保集成』〕

史料②と同時期に幕府が行った施策を説明した文章として適切なものを、次の〔1〕から〔4〕のなかより選び、解答欄〔30〕にマークしなさい。

- 〔1〕 旗本・御家人の借金につき、札差に対し、過去一切の貸付金の放棄と無利息の貸付けを命じた。
- 〔2〕 江戸北町奉行の建言により、隅田川の河口に、無宿人らを収容して生業を授ける施設を設けた。
- 〔3〕 幕府においては、朱子学をはじめとする、さまざまな学派の儒学の研究・教授を奨励した。
- 〔4〕 江戸の地主らが負担する町費を削減し、その節減分の一定割合を囲碁・積立金に充てることとした。

〔設問11〕

江戸時代後期には、幕藩体制下の現実的諸課題を思索し、その処方箋を説く知識人（経世家）が多く現れた。そのような経世家の著作とその内容を説明した文章として適切なものを、次の〔1〕から〔4〕のなかより選び、解答欄〔31〕にマークしなさい。

- 〔1〕 本多利明は、『経世秘策』を著し、豊富な具体例を挙げながら、藩専売制の実施を唱えた。
- 〔2〕 山片蟠桃は、『夢の代』を著し、万人が自ら耕作して生活する自然の世を理想と論じた。
- 〔3〕 海保青陵は、『稽古談』を著し、商業蔑視の風潮を批判し、營利追求の正当性を主張した。
- 〔4〕 佐藤信淵は、『経済要録』を著し、四大急務と称して、鉱山開発・蝦夷地開発などを説いた。

〔設問12〕

18世紀半ば以降、世界では、イギリスがフランスとの植民地争奪戦で優位に立ち、ロシアはシベリア開発を進め、アメリカは西部開拓の末に太平洋岸に達し、これら欧米諸国が日本近海に頻繁に現れるようになった。次の（a）から（e）の出来事を年代の古い順に並べたものを、後の〔1〕から〔9〕のなかより選び、解答欄 にマークしなさい。

- （a）アヘン戦争の終結を受けて五港通商章程が結ばれ、清はイギリスの領事裁判権を認めた。
- （b）イギリス人捕鯨船員が常陸大津浜に上陸し、薪水・食料の供与を要求した。
- （c）オランダ船拿捕の目的で長崎湾内に侵入したイギリス軍艦に、薪水・食料を強奪された。
- （d）外国船の来航に際し、薪水・食料を与え、速やかに退去させることが命じられた。
- （e）日本人漂流民を伴い、通商を求めて来航したアメリカ商船が浦賀沖で砲撃された。

- 〔1〕（a）-（c）-（b）-（d）-（e） 〔2〕（b）-（a）-（c）-（e）-（d） 〔3〕（b）-（c）-（d）-（a）-（e）
〔4〕（c）-（b）-（e）-（d）-（a） 〔5〕（c）-（e）-（d）-（a）-（b） 〔6〕（d）-（b）-（c）-（e）-（a）
〔7〕（d）-（c）-（e）-（a）-（b） 〔8〕（e）-（a）-（c）-（b）-（d） 〔9〕（e）-（d）-（b）-（a）-（c）

〔設問13〕

内憂外患が深まる中、江戸時代後期には、産業振興や財政再建などによる改革を進め、勢力を強める藩が現れ始めた。そのような藩政改革の事例を説明した文章として適切なものを、次の〔1〕から〔4〕のなかより選び、解答欄 にマークしなさい。

- 〔1〕薩摩藩では、調所広郷を登用し、奄美特産の黒砂糖の専売などによって藩財政の再建を図ったほか、藩校集成館を設けて人材育成に努めた。
- 〔2〕長州藩では、領内に寄港する廻船を相手に、越荷方が積荷の保管や委託販売、資金の貸付けなどを行い、藩財政の立直しに貢献した。
- 〔3〕土佐藩では、開成館を置いて吉田東洋・坂本龍馬ら改革派の藩士を登用し、紙・木材などの専売を強化して藩財政の健全化に努めた。
- 〔4〕佐賀藩では、陶磁器の専売を進めて藩財政を改善し、幕府が伊豆韮山に設けた反射炉から技術を学んで、領内2か所に反射炉を築造した。

問題 IV

以下の史料①から史料③は、ある首相経験者の回顧録の一部で、時代順に並んでいる。設問1から設問8に答えなさい。設問1から設問7の解答は、マークシート解答用紙の所定の欄にマークしなさい。設問8の解答は、記述式解答用紙の所定の欄に書きなさい。なお、史料の原文は、適宜改めている。

[史料①]

いったい (A) 公と (B) 公の仲は、この前の (B) 内閣のときは、(A) 公がこれを助けた。それは (B) 公は政友会の総裁であるから、衆議院の方は大たい思うようにいくが、貴族院はそうはいかない。時につむじを曲げる。(A) 公は貴族院に同志が多いから、そういうときにうまく話をまとめる。この両者の間というものは、実にお互いによく理解し合っている。[中略]

第二次 (A) 内閣のときには、情意投合ということで、(B) 公がこれを助ける。しかし (B) という人は、細かいことをかれこれいわない。自分はただ大綱をつかんでいて、あとのことは、^(ア)原敬と松田正久に任せるというやり方であった。

[設問1]

空欄 (B) に該当する人物名として適切なものを次の [1] から [7] のなかより選び、解答欄 (34) にマークしなさい。

- [1] 伊藤博文 [2] 井上毅 [3] 犬養毅 [4] 高橋是清 [5] 田中義一
[6] 西園寺公望 [7] 松方正義

[設問2]

空欄 (A) の人物に関連する説明として適切なものを次の [1] から [5] のなかより選び、解答欄 (35) にマークしなさい。

- [1] この人物とアメリカのタフト大統領との間で非公式に協定が結ばれ、アメリカは日本による韓国保護国化を承認した。
- [2] この人物が第一次内閣を組閣した時代、第一次日英同盟協約が締結されたが、この条約では、もし同盟国のどちらかが別の一国と交戦した場合には、もう一方の同盟国は厳正中立を守ることが規定されていた。
- [3] この人物が第二次内閣を組閣すると、「憲政擁護」を訴える第二次護憲運動が盛り上がり、それを受けてこの内閣は組閣からわずか3か月弱で退陣を余儀なくされた。
- [4] この人物は立憲政友会に対抗する新党の結成を目指し、1916年に憲政会を組織した。
- [5] この人物が第一次内閣を組閣した時代の日露協商論は、満洲における日本、韓国におけるロシアの優越権を日露で互いに認め合う「満韓交換」方式でロシアとの交渉を進めようとするものであった。

〔設問3〕

下線部（ア）の人物に関する説明として適切なものを次の〔1〕から〔5〕のなかより選び、解答欄〔36〕にマークしなさい。

- 〔1〕 1920年の総選挙において、原敬内閣は四大政綱を掲げて選挙戦を戦ったが、その四大政綱の一つとして海軍軍縮が掲げられた。
- 〔2〕 原敬が暗殺されると、総裁の座は高橋是清が継ぎ、高橋の後は犬養毅がこれを継いだ。
- 〔3〕 原敬内閣は朝鮮総督と台湾総督について文官の就任を認める官制改革を行い、台湾総督には田健治郎が任命された。
- 〔4〕 原敬内閣はデモクラシーを期待する世論に配慮し、選挙権の納税資格を15円以上から3円以上に引き下げる選挙法改正案を提出し、成立させた。
- 〔5〕 原敬内閣は、アメリカの呼びかけに応じてワシントン会議に代表団を送り、ワシントン海軍軍備制限条約を締結した。

〔史料②〕

その年（昭和6年）の9月初めのある朝、私は驚くべき電話を、陸軍大臣（南次郎）から受けた。それによると、昨夜9時ごろ、奉天において我が軍は中国兵の攻撃を受け、これに応戦、敵の兵舎を襲撃し、中国兵は奉天の東北に脱走、我が兵はいま長春の敵砲兵旅団と戦を交えつつある、という報告であった。これがいわゆる^(ア)満洲事変の第一声であった。そこで政府は、ただちに臨時閣議を開き、事態を拡大せしめないという方針を定め、陸軍大臣をして、これを満洲の我が軍に通達せしめた。これは我が国が、〔C〕や^(イ)不戦条約に加盟しているので、満洲における今後の出来事が、それに違反するかどうかを確かめる必要があるので、その間事態の拡大を防ぐのが当然であるから、右の措置を取ったのであった。

〔設問4〕

空欄〔C〕にあたる語句として適切なものを次の〔1〕から〔7〕のなかより選び、解答欄〔37〕にマークしなさい。

- 〔1〕 ヴェルサイユ条約 〔2〕 四カ国条約 〔3〕 九カ国条約 〔4〕 日満議定書
- 〔5〕 ロンドン海軍軍縮条約 〔6〕 塘沽停戦協定 〔7〕 石井・ランシング協定

〔設問 5〕

下線部 (イ) の満洲事変およびその前史に関する説明として適切なものを次の [1] から [5] のなかより選び、解答欄 (38) にマークしなさい。

- [1] 蒋介石は国民革命軍を率いて北伐を開始し、1927年に南京に入城し国民政府を樹立したことにより、北伐は完了した。
- [2] 田中義一内閣は三度にわたり山東出兵を行ったが、これに反発した中国の労働者や学生は五・四運動を展開して抵抗の意思を示した。
- [3] 田中義一内閣は張作霖の殺害を軍部に指示し、関東軍はこれを実行に移した。
- [4] 満洲事変に呼応して、国家改造を目指すクーデタ未遂事件（十月事件）が発生し、この事件が一因となり浜口雄幸内閣は退陣に追い込まれた。
- [5] リットン調査団の報告書は、日本の軍事行動や満洲占領は不当なものとしつつも、満洲における日本の特殊権益を認める内容も含んでいた。

〔設問 6〕

下線部 (ウ) の条約を調印した時の内閣として適切なものを次の [1] から [7] のなかより選び、解答欄 (39) にマークしなさい。

- [1] 原敬内閣 [2] 加藤高明内閣 [3] 幣原喜重郎内閣 [4] 田中義一内閣
- [5] 浜口雄幸内閣 [6] 斎藤実内閣 [7] 若槻礼次郎内閣

〔史料③〕

これは東条になってからと思うが、満洲が華北で新民会というものを作って、むこうの人間を縛りつけて、日本と親しまなければならぬという空気を作ろうとした。その陸軍の軍人が内務大臣になって、同じ手で日本国民を取り扱い、言論行動の自由を束縛するの挙に出た。これは実にひどいと私は憤慨した。〔中略〕

そうして、議会を一色に塗りつぶそうとして、^(エ)衆議院の総選挙が行われると、軍人の内務大臣が采配をふり、県知事などがそれに調子を合わせて、非常な選挙干渉をやった。

〔設問 7〕

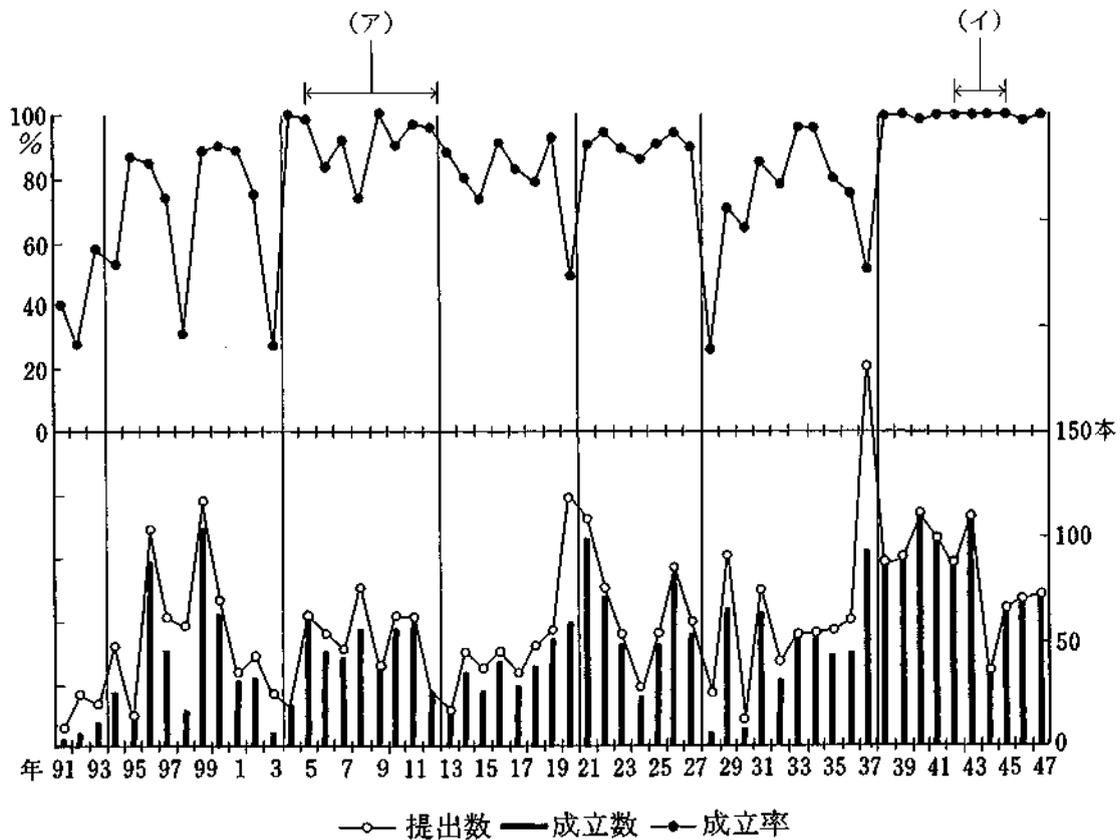
下線部 (エ) の総選挙に関する説明として適切なものを次の [1] から [5] のなかより選び、解答欄 (40) にマークしなさい。

- [1] 第二次世界大戦終結後、この選挙の推薦議員を中心に日本自由党が結党され、非推薦議員の多くは日本進歩党に参加した。
- [2] この選挙に非推薦候補として立候補し、当選した人物の中には、戦後首相となる鳩山一郎、芦田均がいた。
- [3] この選挙が行われた年、文系の大学生への徴兵猶予が停止され、いわゆる「学徒出陣」が行われた。
- [4] 東条英機内閣は、この選挙において選挙干渉を容易にするため治安維持法を改正し、最高刑に死刑が加えられた。
- [5] この選挙で推薦を得て当選した議員たちは、大政翼賛会を結成し、東条内閣の戦争指導を支えた。

〔設問 8〕

下の図は、帝国議会における政府提出法案の提出数、成立数、成立率の推移を示したものである。このうち、(ア) 1905年から1912年までの時期の成立率は、従前に比して相対的に高くなり、(イ) 1942年から1945年までの時期の成立率は、圧倒的に高くなっている。

(ア) と (イ) の時期の政府提出法案の成立率は、それぞれどのように説明できるだろうか。大日本帝国憲法における帝国議会の権限を踏まえたうえで、史料①および史料③の内容と関連づけながら、200字以内で述べなさい。



出典：有馬学・三谷博編『近代日本の政治構造』（吉川弘文館、1993年）